|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ユースケース名 | | 利用者を管理する |
| 目的（ゴール） | | クラウド管理者が新しい利用者の登録や、利用者の削除などを含めた、利用者の管理を行う |
| アクター | | クラウド管理者 |
| 開始条件（起動トリガー) | | クラウド管理者が利用者を管理するためのアクションを要求する |
| 事前条件 | |  |
| 事後条件 | | クラウド管理者が利用者を管理可能となる |
| 拡張点 | |  |
| 関連ユースケース | |  |
| イベントフロ｜ | メインフロー | 1. クラウド管理者が「利用者管理画面」にアクセスする。  2. 「新規ユーザー作成」オプションを選択する。  3. 管理者が新しいユーザーの情報（ユーザー名、メールアドレス、ロールなど）を入力する。  4. システムが入力内容の整合性を検証する。  5. 入力が正しければ、システムが新しい利用者アカウントを作成する。  6. 管理者に成功メッセージが表示される。 |
| 代替フロー | **A1: 利用者情報を読み取る**   1. 管理者が利用者一覧を表示する。 2. 管理者が対象の利用者を選択し、詳細情報を確認する。   **A2: 利用者情報を更新する**   1. 管理者が対象の利用者を選択し、「編集」を選択する。 2. 管理者が情報（ロール、連絡先など）を変更し、保存を実行する。 3. システムが変更内容を反映し、成功メッセージを表示する。   **A3: 利用者を削除する**   1. 管理者が対象の利用者を選択し、「削除」を実行する。 2. システムが確認ダイアログを表示し、管理者が確認する。 3. システムが利用者アカウントを削除し、管理者に通知する。 |
| 例外フロー | **E1: 入力値の不備**   * ユーザー名が空、メールアドレスの形式が不正などの場合、システムはエラーメッセージを表示し、修正を促す。   **E2: 重複したユーザー名**   * すでに存在するユーザー名が入力された場合、システムはエラーメッセージを表示する。   **E3: 削除できない利用者**   * 削除しようとしているユーザーが現在仮想マシンなどに割り当てられているなど、依存関係がある場合、削除を拒否し、理由を表示する。 |
| 備考 | | ・ユーザー情報の内訳については詳細設計の段階で別途検討  ・OpenStackとの連携などについては別途設計で検討 |